

# 平成26年度決算報告

## 町の家計簿をお知らせします

平成26年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算では、道の駅「発酵の里こうざき」整備事業の実施に伴い、歳入・歳出ともに25年度を大きく上回る規模となりました。なお、決算収支については黒字決算となりました。今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

### 一般会計

歳入総額は、37億5268万5千円（前年度比23・7%増）、歳出総額は、33億8885万6千円（前年度比22・1%増）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、1億4510万5千円となりました。

また、町の貯金である財政調整基金は、道の駅整備事業の財源に充てたため、年度末の残高は10億2274万6千円（前年度比23・8%減）となりました。

### 歳入

歳入の18・0%を占める町税収入は、固定資産税（償却資産）が増加したことにより、前年度に比べ491万7千円（0.7%）増となりました。地方交付税（国から町へ交付されるお金）は11億4425万2千円で、前年度に比べ794万5千円（0.7%）減となりました。地方交付税と町税で歳入全体の48・5%を占めています。

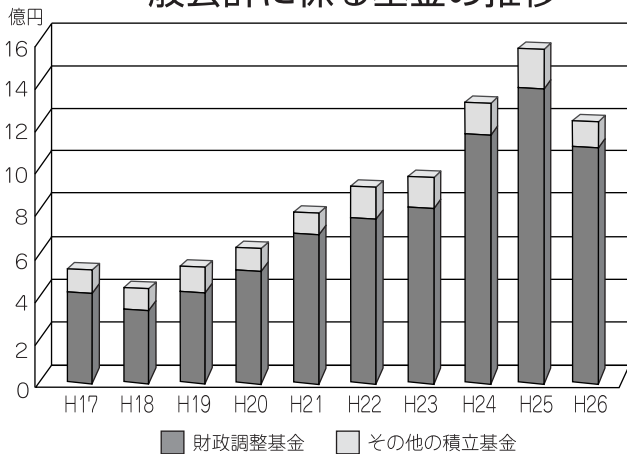
国県支出金（国や県からの補助金など）は、道の駅整備事業の国庫補助により、前年度に比べ156万円（前年度比12・6%増）で、全体の6・6%増となり、平成26年度に実施した主要な事業は下記のとおりです。なお、東日本大震災の災害復旧事業が全て完了しました。

### 歳出

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常的経費が20億2629万3千円（前年度比6.7%増）で、全体の59・8%を占めています。道路や公共施設の整備、災害復旧などを行うための投資的経費は8億8556万円（前年度比12・6%増）で、全体の26・1%となりました。

財政状況では、財政調整基金の残高が減り、経常収支比率（経常的に収入される税金や交付税などのうち、経常経費として使われる割合）が2.9%上昇し84・3%となるなど、厳しい財政運営となりました。今後も、持続可能な財政運営のため、さらなる経費の節減に努めます。

一般会計に係る基金の推移



### 平成26年度に実施した主な事業

- 道の駅「発酵の里こうざき」整備事業 (27年度への繰越分を除き) 6億2308万円
- デジタル防災行政無線改修事業 6010万円
- 米沢小学校空調設備改修事業 3689万円
- 水道事業繰出金(浄水場移転復旧事業分) 1億6300万円



道の駅「発酵の里こうざき」整備事業